

## 10月10日・11日 四国ブロックにて「保護司のための SST 研修」を開催しました

【四国ブロック】 オークラホテル高松

講師：川下 ひとみ氏（SST 普及協会認定講師）、上野 博氏

参加者：30名（徳島6名・高松7名・松山10名・高知7名）

初めに、「SSTとは」についての講義があり、その後、ウォーミングアップを行いました。話題の選び方やほめることを学び、実際に2人1組で雑談を通し体験しました。

続いて、グループSSTの体験です。社会生活上必要な基本的スキルである「断り方」・「謝り方」・「頼み方」の基本的技法を学びました。研修生全員が、それぞれ、保護司役・対象者役・観察者等になり、積極的に意見を出し合い、場面を作って行動練習をしました。

2日目は、1日目の復習から始まり、DVDを視聴（教材「生きる力をつける支援のためにー保護司面接の

ためのSSTマニュアルー P50～P56）し、SSTを用いた面談の流れを知るために3人1組（保護司役・対象者役・観察者役）になり、シナリオロールプレイ（同教材 P50～P56）



2人1組で雑談



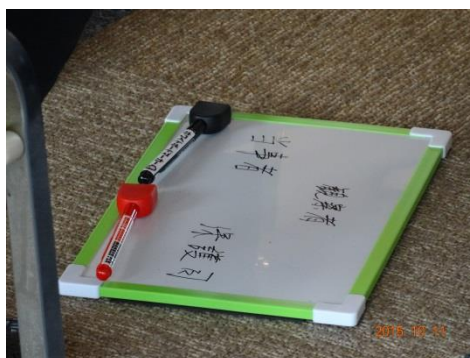
グループSSTの様子

を体験し、その後、それぞれテーマ（ハローワークでの求職活動、誘いを断る時等）を決め面接の練習をしました。

続いて、怒りのコントロールについても同様にDVDを視聴し、自分自身の怒りに対する対処方法を話し合い、「話を聞いてもらう」・「時間を置く」・「大声を出す」等意見が出ました。その後、3人1組でシナリオロールプレイ（同教材 P 76～P 88）を行いました。



3人1組での面接練習



グループごとに  
ミニホワイトボードを使用



みんなの前で、  
「就職面接の練習」を発表

問題解決技法（同教材 P 65～P 72）のDVD視聴の後、6人1組に分かれ、「面接に来ない対象者への対応」等のテーマを決めて、問題解決技法を使い話し合い発表しました。

コインマップについてのDVDを視聴（同教材 P 10～P 13）し、実際にコインを使って体験しました。

最後に、全体で輪になり2日間を振り返り研修が終了しました。研修生からは、「自分自身を見直す機会になった」「今後の面接の中でSSTを取り入れた方法を実践してみたい」等感想をいただきました。

30名の参加者が、10時間の研修を終え、講師からSST普及協会規程初級コースの修了証書が授与されました。



6人1組で、問題解決技法の練習



コインマップを体験